

# DUO 2021

Vol.  
**46**

♪「デュオ」は英語で二重唱（奏）の意味です。

## 寄稿 DVの無い社会をめざそう

DVの実情と対策

関西大学 教授 多賀 太氏

特集 おうち時間が増えた今こそ！

## シェア 家族みんなで家事共有しよう



# DVの無い社会をめざそう

## 特集 寄稿 DVの実情と対策



【プロフィール】  
専門は、教育社会学、ジェンダー学。  
2016年、女性に対する暴力防止の啓発に男性主体で取り組む「一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン」を設立し共同代表に就任。著書に『男子問題の時代?』『男性の非暴力宣言』（共著）、『揺らくサラリーマン生活』（編著）など。

一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表  
関西大学教授 多賀 太

### DVの本質と背景

DVにおいて、暴力行為それ自体が問題であるのはもちろんですが、それ以上に深刻なのは、被害者が、加害者から繰り返し様々な暴力を受けることで行動や精神をコントロールされ、加害者に支配される関係性から抜け出せなくなることです。DVの本質は、配偶者間での「力」の不均衡を背景として、より力のある側が、その力を暴力という不当な形で使用して相手を支配する点にこそあります。

この場合の「力」は、腕力だけでなく、経済力や社会的威信、相手を言いくるめる能力なども含まれますが、とにかくこうした「力」は、男性に偏って与えられがちです。私たちの社会では、今もなお女性よりも男性に対して社会的威信や経済力を得る機会が開かれています。また、「夫は妻を従えるもの」「妻は夫に口答えしないもの」といった男性優位・女性蔑視の通念や、男性の暴力に甘い風潮も見られます。

つまり、深刻なDV被害の圧倒的多数が女性であるという状況は、男女不平等な社会構造や女性蔑視の社会通念に基づく男女間での「力」の不均衡を背景として生じているのです。したがって、暴力を振るう加害者個人がその責任を負うことは当然であるとしても、DVをなくするためには、単に加害者個人を責めたり罰したりすればすむものではなく、社会における男女不平等や女性差別の解消に皆で取り組んでいく必要があります。

一方、女性に比べれば割合が少ないですが、男性にも深刻なDV被害を受けている人がいることも忘れてはならないでしょう。DVが「力」の不均衡を背景とした支配であるならば、男女のカップルで、女性の方が「力」をより多く持っていれば、それを不当に用いて相手を支配することもありえます。同性カップルでも同じことが起こりえます。

### DV対策の現状と課題

2001年のDV防止法施行以来、様々な形で被害者支援が行われてきました。各地の「配偶者暴力相談支援センター」を中心に、相談や緊急時の一時保護、自立生活支援などのサービスが提供されています。配偶者からの身体に対する暴力により生命や身体に危害を受ける恐れが大きいときには、裁判所に申し立てることで、加害者に対して被害者へのつきまといなどを禁止する「保護命令」の制度も

全国のDV（配偶者間暴力）相談件数は、DV防止法が施行された翌年の2002年から2015年まで毎年増え続けた後、年間11万件を超えたところでしばらくは高止まりの状態が続いていました。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行した2020年に入って再び急増傾向が見られ、4月から7月にかけての相談件数は前年の同月比較で約1.4～1.6倍となっています（内閣府男女共同参画局「コロナ下の女性への影響について」）。この背景として、コロナ禍によるストレスが加害者の暴力を助長していることに加え、外出自粛や在宅勤務の増加、失業などにより、被害者が加害者と一緒に家に閉じ込められる状況が増えていることが指摘されています。

### 多い女性の被害

DVは殴ったり蹴ったりという「身体的暴行」に限られるものではなく、「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」なども含まれます（DVをチェック！参照）。内閣府の「男女間における暴力に関する調査（2017）」によれば、婚姻経験がある人のうち、配偶者からこれらの暴力を一度でも受けたことがあると回答した人の割合は、男性で19.1%とほぼ5人に1人、女性では31.3%とほぼ3人に1人にもなり、女性の方がより被害に遭っている傾向にあります。

特に深刻な被害に限ると、男性と比較した女性の被害経験の割合はさらに高くなります。婚姻経験がある人のうち、女性のほぼ21人に1人（4.7%）が、配偶者からの暴力によって命の危険を感じたことがあると答えており、男性の0.6%に比べて約8倍となっています。また、2019年に配偶者間における暴力で加害者が検挙された事案の89.7%で女性が被害者となっています（内閣府『男女共同参画白書令和2年版』）。

あります。また、内閣府では、相談機関を案内する全国共通の電話番号を設けたり、電話、メール、チャットで全国から24時間体制で相談を受け付ける「DV相談プラス」を新たに開設したりもしています（相談窓口のご案内参照）。

しかし、課題も多く残されています。例えば、現在「保護命令」は身体的暴力にしか適用されませんが、生命や身体に危害を受ける恐れが大きければ暴力の種類を問わず適用されることが望まれます。また、児童虐待の背景にDVがあるケースも少なくないことから、子どもをはじめとする同居家族の保護・支援の充実も重要でしょう。さらに、従来の被害者支援では、被害者が加害者から「逃げる・別れる」ことが前提となっていました。むしろ被害者が従来の生活をなるべく維持しながら安心・安全に暮らせることを基本に据え、加害者の引き離しや更生といった視点も含めた被害者支援の充実が望まれます。他方で、すでに述べたように、深刻な被害者の大半は女性ですが、少数派であるがゆえに被害が理解されにくく対策が遅れがちだった、男性被害者や同性カップルの被害者に対する相談・支援体制の拡充も必要です。

DVの発生を防止するには、早期からの予防啓発が欠かせません。私も理事として運営に参加している「NPO法人デートDV防止全国ネットワーク」では、義務教育課程と高等学校においてDV防止教育が年間カリキュラムに組み込まれ、全国すべての子どもたちに予防啓発が行われる体制づくりを目指して活動しています。

さらに、加害者でも被害者でもない人々にとっても、DV問題は決して他人事ではありません。社会の多数派を占めるこれらの人々がDV問題に無関心で何も行動を起こさないことは、結局のところDVを容認し存続させてしまうことにつながります。加害者でも被害者でもない人にも、できることはたくさんあります。DVについての正しい知識を学び、それを周りの人々に伝えていくこと、相談機関や通報先などを知っておき、必要なときには被害者に紹介できるようにしておくこと。こうした一人ひとりの小さなアクションの積み重ねが、DVをなくしていくための大きな力になるはずですよ。

## DVをチェック！ ～こんな経験ありませんか～

- 身体的暴力（身体的暴行）**
    - ・殴られたり、蹴られたり、髪をひっぱられる。
    - ・刃物などの凶器を身体につきつけられる。
  - 精神的暴力（心理的攻撃）**
    - ・殴る、物を投げつけるなどのふりをして脅される。
    - ・ののしったり、からかったり、無視される。
    - ・「一生つきまといやめよう」「離婚するなら子どもは渡さない」などと脅される。
  - 性的暴力（性的強要）**
    - ・性行為を強要される。
    - ・見たくないポルノ雑誌などを見せられる。
  - 経済的暴力（経済的圧迫）**
    - ・生活費を渡してくれない。
    - ・お金の使い方について、細かく口出しされる。
    - ・外で働くことを禁じられる。
  - 社会的暴力（社会的拘束）**
    - ・携帯電話やメールを勝手にチェックされたり、アドレスを無断で削除されたりする。
    - ・行動を監視し制限される。
- 子どもの前で暴力を振るわれるなど、子どもを巻き込んだDVは“児童虐待”です。**

**相談窓口のご案内 DVやセクハラなどの悩み話してみませんか**

～もっとあなたらしく生きるために～ あなたの秘密は守ります。安心してお電話ください。

- ★夫婦・親子・恋人・家族関係などで悩んでいる
- ★夫・妻・パートナー・交際相手から暴力を受けている（DV等）

- ★地域・職場・学校などで人間関係に悩んでいる（セクハラ等）
- ★自分のセクシュアリティについて悩んでいる（LGBT等）

**岡山市男女共同参画相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）**

**相談ほっとライン**

**☎086-803-3366**

相談受付時間  
月・水～土 / 10:00～19:30  
日・祝 / 10:00～16:30  
休 日 / 火曜日、年末年始

DVで緊急に逃げる必要がある時は、左記受付時間にかかわらず、相談ほっとラインにお電話ください。（24時間対応）  
《危険が迫っている時は110番へ》

内閣府

DV相談+（プラス）

☎0120-279-889

相談時間：24時間受付（チャットは12時から22時受付）  
配偶者、恋人等による暴力に悩んでいる人からの電話、メール、チャット相談の受付をしています（10か国語対応）。



おうち時間が  
増えた今こそ!

# シェア 家族みんなで家事共有しよう

女性の社会進出が進み、夫婦共働き世帯は年々増加していますが、皆さんのご家庭で家事を主に担っているのは誰でしょうか?「まだまだ女性の家事負担が多い」とお困りではないですか?おうち時間が増えた今こそ「家事シェア」のチャンス!これからは、家族みんなで「家事シェア」しましょう。

## 整理収納アドバイザー佐藤亮介さんの 『カジメン塾「捨てない整理整活」』 (2020年10月11日開催・さんかく岡山主催) 講座から



佐藤亮介 さん  
整理収納アドバイザー。  
家事のプロとしてメディアでも活躍中。  
久米南町在住。

さんかく岡山で開かれた講座には、「カジメン」(家事をする男性)を目指す男性10人とパートナーの女性2人が参加。佐藤さんの実践的なお話に耳を傾けました。

### ● 家事とは「家に関する作業、全てです!」

家事というと料理、洗濯…と思いがちですが、佐藤さんによると、実は家での作業は全てが家事!脱ぎっぱなしの靴下を捨てるのも、トイレトーパーの交換もぜんぶ家事なんです。これが今話題の「名もなき家事」。小さなことでも積み積もりと大きな負担になってしまいます。

### ● まずは意識改革から「性別も年齢も関係なし 家事は家族みんなでするもの」

家事はそこに住む人みんなで協力してやらなければいけないものです。家事分担という言葉をよく聞きますが、はっきり「分担」すると担当の人がやっていて当たり前、できていないと不満が残ってしまう。分担ではなく「共有」し、みんなでやるという気持ちのほうが感謝の気持ちが生まれうまくいきます。



講座では他にも目からウロコのテクニックや考え方が次から次へと!  
参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

### 参加者の感想

- 定年退職して時間ができたので、もっと家事を手伝おうと思い参加しました。勉強になったので家でしっかりやってみたいと思います。【夫婦で参加した男性】
- 捨てるではなく活かす方法を教えてもらったのが大変良かったです。【40代男性】

### ● 「今すぐ片付け」の習慣化で家事をラクに

あとでまとめてやる「後片付け」ではなく、使ったものはすぐに戻す「今すぐ片付け」を家族全員が実践すれば、家事の負担がぐっと減ります。



## 家事シェアがうまくいくコツ

家事シェアをすると  
相手を思いやる気持ちが  
生まれますよ!

### □ 感謝(ありがとう、助かった、うれしいね)を言葉にすること

できれば大げさなくらいに!でも、感謝を伝えるのが苦手な方は見たままを言葉で伝えるだけで十分です。例えば、頼んだことに対して「〇〇がきれいになったね。」と見たままを言葉にするだけで相手はうれしくなります。

### □ 相手に求めすぎないこと

人それぞれ基準が様々です。相手に10割を求めず7割で良しとすることが大切です。

### □ 家事を二択にして相手に選んでもらう

例えば「お風呂掃除と食器洗いとどっちがいい?」など複数から選んでもらうことは、自分で選んだことにより主体性がでるといふ心理的効果があります。「私は換気扇を洗うから外してもらえない?」など作業手順を分けて一部分をやってもらうのも効果的です。



## 色塗り式 家事リスト50



一般的な日常の家事をリストにしました。行っている人別に色を塗ると(妻は緑、夫はオレンジ、子どもは水色など)、家事の分担の状況が一目瞭然になります。

空欄は、育児や介護に関する事など、ご家庭の日常の項目を記入してご活用ください。

(※ 記入例: 保育園の送り迎え、トイレの介助など)

カーテンを開ける	ベッドを整える	布団カバー・枕カバーを替える	新聞を取る	植物の世話	ペットの世話	朝食を作る	テーブルを拭く	朝食の食器を洗う	朝食の食器を拭く
朝食の食器をしまう	洗面台の掃除	洗濯機の掃除	洗濯機を回す	洗濯を干す	布団を干す	ゴミ箱のゴミを集める	ゴミを出す	資源化物を仕分けする	部屋を片付ける
掃除機をかける	庭やベランダの掃除	玄関の掃除	昼食を作る	昼食の食器を洗う	昼食の食器を拭く	昼食の食器をしまう	日用品の在庫管理	食品の在庫管理	献立を考える
買い物をする	トイレ掃除	風呂掃除	洗濯物を取り込む	洗濯物をたたむ	洗濯物をしまう	アイロンをかける	家計簿をつける	カーテンを閉める	郵便物を確認する
シャンプーなどの詰替え	トイレトーパーの交換	夕食を作る	夕食の食器を洗う	夕食の食器を拭く	夕食の食器をしまう	お茶を作り置きする	生ゴミの処理	シンクの掃除	戸締まりの確認をする

家事を見える化して、みんなで共有しましょう。



## 告知 **さんかくウイーク 2021** 岡山市男女共同参画推進週間

テーマ▶「**あなたがあなたらしく わたしがわたしらしく 輝く社会**」  
記念イベント▶2021年6月20日(日)

※さんかくウイーク期間中は、上記日程以外にさんかく岡山、公民館、図書館など市内各所で様々なイベントを開催いたします。  
令和3年6月21日から27日を「さんかくウイーク(男女共同参画推進週間)」と定め、前後1週間を含めた約3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくための様々なイベントを開催します。詳しくは5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、区役所、公民館などで配布するチラシをご覧ください。

過去のさんかくウイークで開催したイベント▶



## 男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

令和2年度  
表彰事業者の  
ご紹介

### 株式会社 廣榮堂 代表取締役社長 武田 浩一 氏

株式会社 廣榮堂(こうえいどう)は、社員一人ひとりの感性や創造力を大切にしている姿勢から、女性社員ならではの視点を活かした商品開発や、管理職及び役員への女性の積極的な登用など、女性活躍の促進に取り組んでいます。

また、仕事と育児の両立を支援するための福利厚生制度の充実を図り、女性も男性も働きやすい社内制度づくりに取り組んでいます。

このようなことから、女性活躍の促進や仕事と育児の両立支援を積極的に進めていることを高く評価いたしました。



大森市長から表彰状を授与される武田氏(右)



▲過去に  
表彰された企業

## 編集委員の ちょっと一言

### 互いに尊重し合える社会へ

編集委員の皆さんとDUOを編集するにあたり性別役割分担意識について話し、深く考えることができました。意義あることに参加でき、感謝しています。一人ひとりに権利、意志があり、それを互いに尊重し認める事が社会の光になると思います。(林永里子)

### 参画への一歩に

初めてDUOの編集に参加させていただき、とても勉強になりました。令和2年は、コロナ禍で色々経験したことのない事態もたくさんあり、家庭内だけでなく社会の中でも、お互い理解して協力していくことの大切さを実感しました。目の前の小さなことから始めていくことが参画への一歩になるのだと思いました。(藤井里枝)

### コロナDV

新型コロナウイルスは、男女共同参画社会の形成に大きく影響—。まず、在宅勤務によって配偶者のDV(家庭内暴力)が増加し「コロナDV」「コロナ離婚」の新語を生んだ。そして企業の業績悪化で、社会的テーマが忘れ去られるのではないかと、懸念されている。どう対応すべきか。(藤田学)

### 女性が輝くまちづくり

女性は非正規雇用者が多く、コロナ不況で解雇されています。日本の「ジェンダーギャップ指数」は121位で女性・子ども政策は重要な課題です。岡山市では先進的に男女平等教育、男女共同参画に取り組んできた今「女性が輝くまちづくり」を推進する時です。(万城公美子)

### 一人ひとりの意識が社会を作る

男女共同参画と一言で言っても、そこへのアプローチは様々です。編集委員を通して、社会や企業のシステムだけでなく、個人のあり方も重要だとあらためて感じました。子育て中の私は、自分のこれからのだけでなく子どもたちにどう伝えていくかも今後の課題です。(吉田可南子)

# 創立20周年

岡山市男女共同参画社会推進センター(さんかく岡山)が  
令和2年4月1日で創立20周年を迎えました。

## さんかく岡山20周年記念イベント実施報告

講演

### 家事リストのススメ ～幸せ家族のコミュニケーション～

講師 野々村 友紀子 さん

日時 令和2年10月17日(土) 会場 西大寺緑花公園 百花プラザ

さんかく岡山20周年を記念して、講演会を開催しました。講師に、バラエティー番組の企画構成や吉本総合芸能学院(NSC)の講師など多方面で活躍されている野々村友紀子さんをお招きし、家族で家事を上手にシェアするコツについて楽しくお話しいただきました。参加者からは、「家事リストを作って話し合っていこうと思います。(40代男性)」といった感想が寄せられました。



## 「さんかく岡山」20周年記念グッズ、 ミニトートバッグ



年代、性別にかかわらず、誰もが日常的にご愛用していただけるツールとして、ミニトートバッグを作成しました。

絵柄を通じて、「ジェンダー」「GENDER」や「さんかく岡山」という言葉を市民の皆さんに広く知っていただき、ジェンダー平等を考えるきっかけになればと願っています。

さんかくカレッジの講座受講生などにお配りしました。

イラストに  
込めた思い

## ジェンダーの縛り(リボン)から解き放たれて 大空(未来)に羽ばたいていく、さんかくのショートケーキ(さんかく岡山)

すべての人の足かせになっている、性別に起因する偏見や様々なプレッシャーから自由になり、お互いの個性を尊重できる豊かな男女共同参画社会をつくっていききたい、というメッセージを込めました。「さんかく岡山」の名称にちなみ、また、性別・年代を問わず、好まれるスイーツの定番であることから、さんかくのショートケーキをモチーフにし、20周年の祝福を込めました。

さんかく岡山のツイートをフォローまたはリツイートしてくださった方を対象にさんかく岡山20周年記念ミニトートバッグをプレゼントいたします。

### プレゼントを受け取るには

1. さんかく岡山(@sankaku\_okayama)のツイートをフォローまたはリツイートする。
2. さんかく岡山の窓口で携帯電話の画面(リツイートまたはフォローしていることがわかるページ)を提示する。
3. 1名様につき1つミニトートバッグをお渡しします。在庫がなくなり次第、プレゼントは終了します。



岡山市男女共同参画社会推進センター

# さんかく岡山を利用しよう!

「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わず、どなたでもご利用いただけます。岡山市の男女共同参画を推進するための活動拠点であり、様々な講座やイベントも開催しています。お気軽にお立ち寄りください。



**会議室**

(有料・要予約)  
最大100人まで  
ご利用いただけます。



**ミーティングルーム**

(無料・要予約)  
3人以上のグループで3時間  
まで利用できます。グループで  
の自主学习などにぜひどうぞ。



**展示ギャラリー**

(無料・要予約)  
市民のみなさんへ作品を発表  
できる場を無料で提供してい  
ます。



**図書**

1回5冊まで。  
貸出期間は2週間です。



**託児室 (有料・予約制)**

生後6か月～就学前のお子  
さんを3時間までお預かりし  
ます。買い物などの際にもご  
利用いただけます。

## さんかく岡山の事業

男女共同参画社会を目指す人材の養成や、企業での女性活躍を目的とした講座、子ども向けの体験プログラム、イベントなどを開催しています。



さんかくカレッジ [online]  
(R2)



コどもさんかくゼミ  
(R2)



親子ワークショップ  
(R2)

**住所** 〒700-0822  
岡山市北区表町三丁目14-1-201  
(アークスクエア表町2階)  
**電話** 086-803-3355 **FAX** 086-803-3344  
**電子メール** sankaku@city.okayama.lg.jp  
**ホームページ**

<https://www.city.okayama.jp/0000005879.html>

※ 講座・イベント等のさんかく岡山の施設情報は  
こちらから

**開館時間** 月・水～土 / 9:30～20:00  
日・祝 / 9:30～17:00

**休館日** 火曜日、年末年始 (火曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館となります。)

